

第4回ブロック代表理事会議レポート

Block Representative Director Meeting Report

(BRMレポート)

「全国大会アンケート」中間結果を踏まえ今後の方針を協議

各ブロックのユ協代表として選出されたブロック代表理事による協議の場、ブロック代表理事会議（BRM）の第4回を2/14（土）に開催しました。現在受付中の「全国大会アンケート」の中間集計をもとに、今後の議論の方向性について意見を交わしました。アンケートは、引き続き3月末日まで回答を受け付けています。お寄せいただいたご意見を参考に、2030年度以降の全国大会の方針策定を進めて参りますので、ぜひ、皆さんのお考えをお聞かせください！

アンケートQRコード



3月31日まで受付中！

第4回会議のポイント

アンケートの中間結果報告

中間集計（2月5日時点で78回答）では、7素案のうち案③、次いで案②の支持が高いという結果でした。全国大会への参加理由では、「交流」と「学び」が頻出。このほか、プログラムの簡素化など現行の運営方法の見直し、主管ユ協の負担軽減を求める声も複数あがりました。詳しい結果はユ協便で報告します。

今後の議論の進め方を協議

意義・目的に関して、7素案はいずれも重要で絞り込む必要はないのでは、といった意見が出されたほか、プログラム内容、プロ研との差別化、主管の体制、費用面の課題などにも触れながら、多角的に意見を交わしました。今後、アンケートの最終結果を基に、さらに議論を深めていきます。

2026年度SDGs活動助成

SDGs達成にむけてユネスコ活動の活性化、ユ協の活動基盤強化を目的に、来年度も「ユネスコ協会SDGs活動助成」の実施を決定。概要について協議しました。助成分野は青少年対象事業など6分野。4月に募集要項を公表し、申請〆切は5月25日を予定。皆様からの申請をお待ちしています！

<アンケート中間結果：全国大会の意義・目的について、自分の考えに最も近いものを選択>

案	件数	割合
案① 社会に向けて民間ユネスコ活動をアピールし、新たなサポーターや会員を増やすことを目指す場	14	14.7%
案② 社会課題に対応したユネスコ運動の方針を協議し、社会に向けて発信する場	17	17.9%
案③ 会員が見識を広げ、参加者間の交流を深めることで、活動力を高める場	25	26.3%
案④ ユネスコの理念に賛同する人たちが、持続可能な社会の実現に向けて主体的に参加し、行動変容をもたらす場	11	11.6%
案⑤ 平和への理解を深め、その後の活動につなげる場	7	7.4%
案⑥ 全国大会の参加者がユネスコ精神を確認し合い、帰属意識を高め、連帯感を強める場	13	13.7%
案⑦ UNESCOの方針を再認識し、関連団体の核としてのUNESCOの目的の普及・推進に繋げる	8	8.4%



次回（第5回BRM）の開催は4月中旬を予定しています。

ご意見・ご質問については、各ブロック代表理事までお気軽にお寄せください！



林 (北海道)

高橋 (東北)

★部会長
岸 (関東)

永野 (関東)

伊東 (中部東)

平井 (中部西)

山中 (近畿)

★副部会長
鈴木 (中国)

土居 (四国)

白石 (九州)



公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟